

ぬかただより

岡崎市立額田図書館
冬号 No.73
2024 年 12 月発行

昨年の春、利用者様に「ギンリョウソウが額田図書館の近くで生えているよ」と教えていただきました。
ギンリョウソウは透き通ったガラス細工のような白銀色です。薄暗い林内に浮かび上がって見えるため、ユウレイダケ（幽霊茸）とも呼ばれます。「茸（きのこ）」の字が当てられています、ツツジ科に分類されている植物の仲間です。

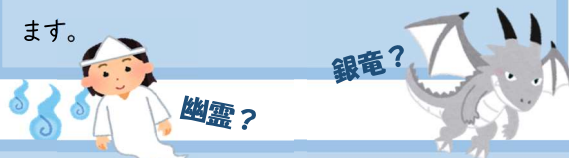


ギンリョウソウ 2024.4.23 額田図書館周辺 撮影:額田スタッフ

ギンリョウソウは日本全国、東南アジア、中国、台湾、ヒマラヤ、ロシアと広範囲に分布する植物です。花期は 4～8 月頃。

葉っぱは退化しており、うろこ状に茎の下で重なっています。（鱗片葉^{りんぺんよう}）

竜に見立てたことが名前の由来とされ、漢字で書くと「銀竜草」。儚い姿なのに漢字で見ると何だか強そう。花卉に包まれた雌しべは青く、目玉のように見える果実が、夏にかけて膨らみます。



光合成を「やめた」植物？

植物といえば「光合成」。ところが、ギンリョウソウは緑色の葉っぱがありません。光合成をやめて、土の中にいる菌類に寄生して栄養を奪い取っているため「菌従属栄養植物」と呼ばれています。地上に現れるのは、花を咲かせるときだけ。植物の 8 割ほどが菌類と助け合う共生関係ですが、生き残るために一方的に栄養を奪う寄生関係に進化したんですね。

種子の運び方も独特？

ギンリョウソウが生える場所は風通しが悪いため、風によって種子を運ぶのは効率的ではありません。鳥などの動物もおいしい果肉などがついていないので食べないそうです。そこで種子の運び手になるのがカマドウマやゴキブリなどの昆虫。光合成をやめた植物の種子はとても小さいため、昆虫が種子をかみ砕くことなく無傷で排出されるそうですよ。

ギンリョウソウの新種を発見！

ギンリョウソウ属は 1 種のみだと考えられてきましたが、2022 年末、ギンリョウソウに新種発見の発表がありました。最初に発見された霧島（宮崎・鹿児島県境）にちなんでキシマギンリョウソウと名付けられ、新種の報告までに 20 年 (!) もかかりました。キシマギンリョウソウはギンリョウソウに比べ、がく片の数も多く、花が咲く時期も約 1 か月遅いといった特徴があることが判明。寄生する菌類も違うため根の形も大きく違い、DNA 解析でもギンリョウソウとは区分され、新種と判断されました。

(!) どうして新種と認められるまで時間がかかったの？

一般的に、新種を検証するときは既存の種と比較して「これくらい違いがあるから別種だ!」という様に先行研究と照らし合わせるのだそうです。ギンリョウソウは 1 種しかないため、別種と判断する基準の材料が少なくて難しかったのだとか。研究って大変ですね…。



●参考資料●『技あり! モーレツ植物ずかん 3』長谷部光泰/監修 鈴木出版 470/ワ、『山と溪谷2023年6月号』『ギンリョウソウの新種発見に迫る』末次健司/監修・写真 稲垣 亜希乃/文 山と溪谷社、『日経サイエンス2023年7月号』『光合成はもうやめた』末次健司/語り 遠藤智之/聞き手 日経サイエンス社、国立大学法人神戸大学ホームページ『世界でも2種目! 新種の「ギンリョウソウ」を発見』https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/2022_11_30_01/、『光合成をやめた植物3種の種子の運び手をカマドウマと特定』https://www.kobe-u.ac.jp/ja/news/article/2017_11_13_01/、Science Portal『助け合い? せめぎ合い? 光合成をやめた植物の謎を追う』末次健司/インタビュアー 一條亜紀枝/文 https://scienceportal.jst.go.jp/explore/interview/20221006_e01/



● 図書館からのお知らせ ●

「ブックスタート」

・偶数月 第1木曜日 10:00～11:00

「おはなしと紙しばいの会」

・第2土曜 10:30～11:00
・第3金曜 16:00～16:30

中止や変更になる場合があります。
最新情報は図書館ホームページ、
館内掲示等でご確認ください。

冬号のおすすめ本

としょかん 図書館クイズ！

図書館で、^{じどうしょ}児童書と^{いっぽんしよ}一般書の間にあ
たり、^{ちゅうこうせい}中高生を対象とした本のジャンル
は何でしょう？

- ① YA (ヤングアダルト)
- ② YM (ヤングマン)
- ③ GS (^{がくせいしょうせつ}学生小説)

📝 答えはおたよりの最後です 📝

ヒント

^{こども}子どもと^{おとな}大人の境目の^{さかいめ}世代の
^{せだい}ことを言うよ

ちいさいこむけ

『犬ずもう』

最勝寺朋子/著 めくるむ E/イ



「犬ずもう」とは、なかよしの犬がはげしくじゃれあう遊
びのこと。さあ、それぞれのすもう部屋で暮らす犬力士た
ちの犬ずもうが始まるよ。まずは、やさしい顔のあかまる
と、こたろうがハッキョイ！ノコッタ！組んだとたんに野生化
する2匹。でも、なんて楽しそうなのでしょう！犬たちの
全力の遊びが見られる絵本です。

小学生向け

『こども資源マップ』

柴田明夫/監修 バウンド/著 カンゼン 334/コ



ひとくちに資源といっても石油や天然ガスなどの天然資
源だけでなく、食料や産業に利用できるものすべてが含ま
れます。日本では、自給できない資源を世界中の国から
輸入しています。

資源は無限ではありません。詳しく知ること、持続可能
な未来について考えてみませんか。

YA 向け

『10代のうちに知っておきたい 言葉と心の切りかえ術』

大野萌子/著 笠間書院 YA/361/シ



上手にコミュニケーションが取れるようになるには、どう
したらいいのでしょうか。返事をするとき、意見を言うとき、ほ
めるときなど、様々なシチュエーションでの会話の例がこ
の本では紹介されています。相手に自分の気持ちを上手
く伝えるヒントが見つかるかもしれません。

大人向け

『生活はクラシック 音楽でできている』

渋谷ゆう子/著 笠間書院 760/セ



家電製品から流れる電子音、CMで流れる印象的な曲、
運動会で流れる定番曲…。私たちの生活は、クラシック音楽
であふれていることをご存じでしたか？身近にあるクラシッ
ク音楽に焦点を当て紹介しているので、ひとりで読んでもお
もしろいですが、何人かで話をしながら読むとさらに楽しめ
る1冊です。二次元コードで曲をすぐに聴くこともできます。

日本は牧野富太郎氏などの貢献もあって、世界で最も植物の分類が進んでいる地域ともいわれるそうです。
それでも毎年数種程度の新種が発見されています。まだまだ多くの可能性と謎を秘めているんですね。

寒い冬は、額田図書館でじっくり植物について調べてみませんか。そして、春になったらギンリョウソウ
を探してみてください。



岡崎市立額田図書館

榑山町字山ノ神 21 番地 1 TEL 82-2953

【開館時間】9:00～19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。

(41/1/2/3/4)A人①:ネ号

